

地方創生推進交付金事業評価シート

	担当課名	企画政策課	事業No.	1
事業名	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略			
目的	徳島県・徳島市と連携し、世界に誇る二つの青色「LED」と「阿波藍」を活用した新たなツーリズムの創出に向けたイベント開催や「ジャパブルー・徳島」のプロモーション等に取り組みます。			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・藍の館を活用した藍染め製品作りワークショップ ・藍染めファッションショー「インディゴコレクション2016」の開催 			
重要業績評価指標 (KPI)	指標	藍の館の年間入込客数		
	目標	35,000人 (H31) ←26,596人 (H26)		
	実績	31,384人 (H28)		
達成度	A : 達成 B : 概ね達成 C : 未達成			

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費 (平成28年度)	4,000,000	3,449,174	1,724,587	事業費の1/2

【平成28年度の取組と課題】

「藍の魅力再発見！」を目的とし藍染め製品をテーマとした本格的なファッションショー「インディゴコレクション2016」を開催し、幼児から大学生まで53人が出演しました。ショーで身に着ける藍染め製品は原則自作とし、製品作成の支援として、藍の館でワークショップを開催しました(1回)。日常とかけ離れた空間での発表は、来場者だけでなく出演者にも、藍の魅力を再発見してもらえました。

来場者について、第1部は148席がほぼ満席でしたが、第2部では8割程度にとどまりました。第1部は子どもたちが出演したことから家族が多く来たと考えられます。広く藍の魅力を発信できたかという点では少し弱く、広報不足であったと考えています。

【今後の取組】

昨年度も実施したインディゴコレクションを、今年度も10月に開催予定です。昨年度の広報不足をとらえ、若者向けの雑誌に、募集、開催の広告を出し、SNSでも発信するようにしています。

また、平成29年度は、県内のクリエイター2名を講師に招き、藍の館で毎月2回程度、藍染めを使ったアクセサリーや小物等のワークショップを開催しており、町は参加者等の入館料を補助しています。広報については、チラシの配布だけでなく、町と講師がお互いに開催内容等をホームページやSNS、新聞等で発信しています。参加者には町外の方もいて、初めて藍の館に来たという方も多く、少しずつでも藍の魅力を広げていけていると感じています。

※藍住町地方創生推進会議意見

- ・藍住町の良さを発信するにはいい企画である。
- ・広報不足への対策として町内の大型店舗と連携してはどうか。
- ・町立の小中学校で行っている藍教育の取り組みをもっと強く発信できるような仕掛け作りも検討してほしい。
- ・藍の館からの発信、PRが十分できているのか、工夫があるのかを確認し、検討してほしい。
- ・町内の人材を活用し、いろんな企画をしてほしい。
- ・町内の子供たちに一貫した藍の教育ができるようなプロジェクトを立ち上げてほしい。